

2024年5月26日 青戸教会 「三位一体の神」 山口智子牧師
聖書 イザヤ書40章12～17節、ヨハネ福音書14章8～17節

先週、5月19日は教会歴ではペンテコステ、聖霊降臨日でした。イエス・キリストが父なる神の御許に昇っていかれた後、弟子たちの上に聖霊が降ることにより、父なる神、子なる神、聖霊の神として三位一体の神が完成しました。本日は教会歴では三位一体主日ですので、三位一体の神について私がこれまで考えてきたことをお話致します。三位一体の神とは、神は父、子、聖霊の三つの位格でありながら、一つの実体であるということです。この三位一体論はキリスト教会の歴史の初期、4世紀の古代教会の時代に確立された教義です。三位一体論はこの後の5世紀に確立したキリスト論、すなわちイエス・キリストが神であり人であるという教義と共にキリスト教会すべてに受け入れられている基本的な教義です。西方教会のカトリック教会とプロテスタント教会、ギリシャ正教やロシア正教などの東方教会においても共通する教義、信条です。私たちは教義や信条を信じることによりクリスチャンになったのではなく、それぞれの人生のある時にイエス・キリストとの出会いが与えられて信仰をもつに至りました。しかしながら、異端の問題や聖書を読む時にも役立つので基本的な信条について理解しておくといひ思います。

三位一体という言葉自体は聖書の中にはありませんが、三位一体論的表現はあります（マタイによる福音書28章19節、Iコリント12章4～6節）。三位一体論は、神がイエス・キリストを通して聖霊の力によって自分たちを救われたという古代教会の信仰体験の表現であるといわれます。それゆえに三位一体論の神のあり方を論理的に、筋道立てて理解することは無理なのです。

私自身も牧師になる試験、正教師試験の頃はそのような理解でしたが、それから徐々に時が経つにつれて三位一体の神について理解が変化してきましたのでそのことについてお話します。

私は、三位一体の神とは、父なる神、子なる神（イエス・キリスト）、聖霊なる神の関係、交わりであると理解するようになりました。「関係、交わり」とは互いに関わり合うことであり、即ち「愛」であるということです。イエス・キリストは復活して天に昇り、私たちの世界にいらなくても「聖霊」としてこの世界に生きておられます。イエス・キリストを信じる私たちは聖霊を受けているゆえに、父なる神、子なる神、聖霊なる神の交わりに与ることができません。『神は霊である。だから、神を礼拝する者は、霊と真理をもって礼拝しなければならない』（ヨハネ福音書4章24節）とあるように、神との交わりは「霊」における交わりであり、人間同士における交わりとは異なりますが、交わりが

愛であり、関わり合いであることは同じです。私たちと神との交わりはイエス・キリストへの信仰を通して与えられます。私たちが神に礼拝を捧げることににより、聖書の言葉を通して、祈りにより、黙想を通して行われます。

私はジョージ・ミュラーの「祈りの秘訣」という本を読んだことがあります。ミュラーは19世紀のイギリスにおいて素晴らしい働きをした牧師です。ミュラーはすべての必要は信仰と祈りによって与えられると信じ、2000人もの孤児をただ神への祈りによって養ったとのことでした。「祈りの秘訣」を読むと、ミュラーは孤児を養う事業に関して、常に聖書の言葉と祈りによって「神のみこころ」を確かめながら決断し、すべての必要が満たされたとのことでした。ミュラーは19世紀において神への信仰と人への愛の実践を通して、三位一体の神における豊かな交わりの恵みに与ったクリスチャンであるといえます。

現代の日本社会の状況を考える時、毎日のニュースで報じられる事件などを見聞きする度に、私たちキリスト者にできることは何か、為すべきことは何かと切に思わされます。この三位一体の神に関する恵みは、現代社会においてどのように適用していけば良いのでしょうか？ 現代の社会問題として高齢者の増加とそれに伴う介護等の問題、子どもの減少により消滅する地方自治体の問題、若年者だけでなく中高年の「引きこもり」の問題、子どもの貧困や虐待問題など数多くあります。そして、これらの問題すべてにおいて、現代社会の人間関係のあり方、人間関係が失われていることが根本的な原因であると思います。家族の中、地域の中、学校の中、職場の中において人間関係が失われ、いびつで頼りない人間関係であるゆえに私たちの社会は「愛」が失われています。

2年ほど前のNHKのクローズアップ現代で、同居する家族同士でも自分の家族が死亡したことに気づくことなく生活している人がいることを紹介していました。これほどまでに現代社会は「愛」が失われているのです。私たちの社会に「愛」を回復するとは、豊かな人間関係、関わり合い、交わりを回復することです。